

機械器具51 医療用嘴管及び体液誘導管

管理医療機器

気管支吸引用カテーテル 31249000

JMS吸引カテーテル

再使用禁止

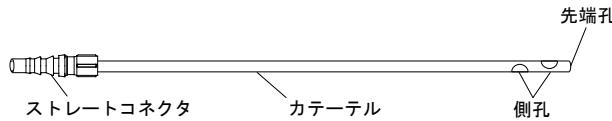
【禁忌・禁止】

再使用禁止

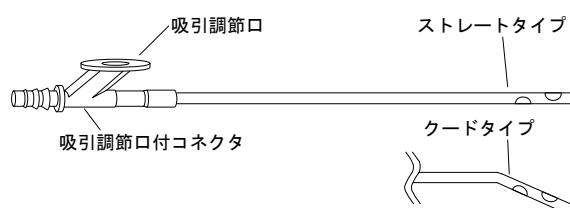
【形状・構造及び原理等】

〈構造図(代表図)〉

1. ストレートコネクタタイプ



2. 吸引調節口付タイプ



**・カテーテルはポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)又はテレフタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。

**〈カテーテル寸法〉

フレンチ(F)	公称外径(mm)	カラーコード	有効長(mm)
5	1.67	グレー	300~650
6	2.0	ライトグリーン	
8	2.67	ライトブルー	
10	3.33	ブラック	
12	4.0	ホワイト	
14	4.67	グリーン	
16	5.33	オレンジ	
18	6.0	レッド	

〈仕様〉

項目	性能
引張強度	5N(5~8F), 15N(10~14F), 20N(16~18F)
耐圧性	40kPa

【使用目的又は効果】

経鼻又は経口的に、咽頭、気管又は気管支に挿入し、排液及び喀痰や気道分泌物の吸引に用いる。

【使用方法等】

1. 包装から本品を取り出します。
2. コネクタを吸引装置と緩みや外れが生じないようにしっかりと接続します。
3. 吸引圧をかけない状態でカテーテルを目的部位まで挿入し、吸引を開始します。
4. 吸引調節口付タイプは手指で調節口をふさぐことにより吸引圧を調節します。
5. 吸引終了後、カテーテルをゆっくり抜去します。

〈使用方法等に関する使用上の注意〉

1. 気管内チューブに本品を挿入する場合は、気管内チューブ内径の1/2以下のカテーテルサイズを選択すること。[気道内に過度の陰圧がかかり無気肺を形成するおそれがある。]
2. カテーテルを鉗子等で傷つけないように注意すること。[鉗子の根元又は先端で閉塞すると、カテーテルが破損し、液漏れや空気混入等が生じるおそれがある。]
3. 吸引調節口付タイプは飛散防止の構造になっているが、吸引物に巻き込む空気の量が多い場合、吸引物が飛散するおそれがあるので注意すること。
4. 挿入時及び吸引中は次の事項に注意すること。

** (1) カテーテル挿入に抵抗がある場合は、カテーテルを抜いて、原因を解消した後、もう一度挿入し直すこと。[粘膜損傷を引き起こすおそれがある。]

** (2) 口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、気道粘膜の損傷に注意すること。特に長期にわたり人工呼吸を行っている患者への使用にあたっては、気道粘膜の状態を観察すること。[本品先端が繰り返し気道粘膜を損傷し、出血するおそれがある。]

(3) 歯、鼻甲介等及び鋭利なもの等でカテーテルを傷つけないように注意すること。[液漏れ、空気混入が生じるおそれがある。]

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

1. 本品のカテーテルとコネクタの接合部には、過度に折り曲げたり、引っ張ったり、押し込んだりするような負荷がかからないようにすること。[接合部の外れ及び液漏れ、本品の破損等が生じるおそれがある。]
2. 本品は、ポリ塩化ビニルの可塑剤であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出するおそれがある。

〈不具合・有害事象〉

1. その他の不具合
空気混入、漏れ、破損
2. その他の有害事象
(1) 口腔、鼻腔、咽頭、喉頭、気管又は気管支等の粘膜の損傷及び出血
(2) 無気肺、低酸素血症

【保管方法及び有効期間等】

〈有効期間〉

3年 [自己認証(当社データ)による]
包装の使用期限欄を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

株式会社ジェイ・エム・エス

問い合わせ先

TEL 082-243-5806